

総合病院について

問 新医師研修制度が一巡する、18年度の医師不足の見通しは

答 17年に2年間の初期研修が終了する。次に専門医を目指す後期研修に入る。どれだけ多くの研修医が大学病院を、研修の場として選択するかです。多くの研修医が大学病院を選択するならば、医師不足が緩和されます。

問 病院と診療所との「紹介状」の費用負担は。横浜市の医療連携グループが考案した、「医療連携携帯手帳」を当地域での医療連携に活用できないか

答 「紹介状」は患者の診療の一環をなし、保険上220点(2,200円)の診療請求が認められる。自由診療であれば

無料も可能かも。保険診療の上では、なじまないと考える。「連携携帯手帳」については、患者さんに配布して、患者と診療側の、お互いの理解の向上に役立てていきたいと思う。

問 医師不足の中、勤務医の労働条件と待遇・女性医師・看護師の働く環境整備について

答 医師の勤務状況を十分把握し、基本給・特殊勤務手当など他の病院・大学など他との整合性等を含め、今後検討する。女性の働きやすい環境整備は、実効性のある方法を検討する。

問 自治体病院の連携、ネットワーク化の具体的取組みは

答 各病院の医師不足の中、周辺市町の合併が一段落する時一つの契機として、具体的な話し合いに、取組んでいく。

市の木・市の花について

問 市の木・市の花を自然にまかせておいては徐々に減少していくのではないか。今後どのようにに保護・繁殖していくのか、次の世代にどのように教え伝えていくのか

答 市の木・市の花につきましては自生地の保護、保全につとめるとともに観光施設や街路整備に積極的に活用してまいります。地域、家庭でも御前崎市の自然資源を守って頂きたい。

「市の鳥」制定について

問 県下の多くの市でも市の鳥を制定しています。御前崎市においても制定するお考えは

答 検討をしてみました。結論が、「市の鳥」制定の結論に

至っております。御前崎の自然資源に誇りをもち後世に継承していくために皆様の意見を聞いて引き続き研究してまいります。

総合体育館建設について

問 旧浜岡町時代に総合体育館建設を陳情した経緯があります。御前崎市になりましたので競技力向上・体育の振興のためにも総合体育館は必要と考えます

答 昨年の合併により御前崎市となりましたので、体育館につきましても、今後必要性について改めて、広く市民の意見を聞くと共に、併せて総合計画の中で検討してまいります。

